

事業所名

カンガルー療育支援室 大和ステーション

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和8年

3月

9日

法人（事業所）理念		『いきいきとした子どもの豊かな未来を育む』を目標を掲げ、一人ひとりの個性をしっかりと受け止めたあたたかい支援を行い、お子さまが心身ともに健全で調和のとれた成長ができるよう目指していきます。 療育支援では障害の重さに関わらず、お子様に最適な支援を提供します。また、併設の保育園との交流、地域、社会とのふれあいや、コミュニケーションを大切にした教育を行います。保護者さまにはそれぞれの子育てに寄り添いながらサポートすることで、子ども達の成長に気づき、その喜びを保護者さまと共有していきたいと思ひます。								
支援方針		個々の児童の心身の発達状態を踏まえて、日常生活における基本動作の習得や、環境への適応を支援します。 事業の実施にあたっては、関係市区町村、地域の保健・医療・福祉サービス機関、保育施設（併設している保育園・近隣の保育施設）との連携を図り、総合的なサービスの提供に努めていきます。								
営業時間		10時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり	なし	※徒歩5分～10分圏内の保育施設は相談可	
		支 援 内 容					活 動 内 容			
本人支援	健康・生活	健康的な体と心を育て、安全に生活できるよう支援する。 様々な遊びを通して学びが促進されるよう環境を整え、楽しみながら生活に必要な基本的技能の習得に努める。 自身のやろうという気持ちを大切にしながら、基本的な生活習慣を身につけられるよう支援する。					・ふれあい遊び、リズム体操 ・着替え、手洗い、トイレ			
	運動・感覚	全身運動、手先の運動、ふれあい遊び等の活動を取り入れ、身体を使って遊ぶことを楽しめるように支援する。 リズム運動や体操を通して全身運動や、協調運動の経験を積み重ねていく。 いろいろな運動遊具を設定し、身体の使い方をわかりながら楽しく運動できるように支援する。					・ふれあい遊び、リズム体操 ・サーキット運動、全身体操・ボール遊び ・制作・感覚遊び・ひも通し			
	認知・行動	絵カードや動きの見本を示しながら、見通しを持って行動できるように支援する。 わからないとき、不安なときは、助けを求めながら行動したり、活動に参加できるように働きかける。 子どもに合わせた手添えや声かけ、補助を行い、やることを理解しながら自信をもって行動できるように支援する。					・ルール遊び・まねっこ遊び ・制作・パズル ・観察・係活動			
	言語 コミュニケーション	安心できる環境（人・場所）の中で好きな遊びが楽しめるよう支援する。 大人が間に立ち、友だちとの言葉のやりとりやコミュニケーションを楽しみ、子ども同士のやりとりにつながるよう働きかける。 自分の意見や気持ちを伝え合うことを促し、相手にも考えがあることに気付けるように支援する。					・ごっこ遊び・ルール遊び ・言葉遊び・絵本 ・話し合い・係活動			
	人間関係 社会性	いろいろな遊びを通して同じことを楽しみ、人との関わりを持てるように働きかける。 自分の気持ちを伝えると同時に相手の気持ちも聞き、友だちを意識しながら関わって遊べるよう支援する。 友だちと自分の意見を伝え合いながら、協力してやり遂げる経験を積み重ねる。					・ごっこ遊び・ルール遊び ・話し合い・係活動			
家族支援		・子どもの成長、発達や課題に対する相談援助。 ・保護者同士の交流会の機会提供			移行支援		・集団選択に関する情報提供、相談援助 ・保育園等の平衡利用により、生活・活動能力の向上を支援する			
地域支援・地域連携		・子どもに関わる地域の関係者・関係機関との連携（相互の見学、連携会議、連絡会参加等）			職員の質の向上		・療育前後の打ち合わせ、振り返りの実施 ・研修への参加（事業所内研修・勉強会の実施・外部研修の受講） ・相互実習（他事業所見学・意見交換）			
主な行事等		季節に合わせた行事や興味を促す活動（お正月、節分、ひなまつり、自然とのふれあい、お花見、七夕、夏祭り、プール、落ち葉拾い、クリスマス） 必要に応じた訓練（防災訓練、避難訓練、不審者対応等）								